



高幡不動尊の紫陽花

梅雨晴れの  
五重の塔に  
あじさいの  
晴れぬ情も  
薄っすら虹色

## 令和元年「さつき祭」開催

5月26日、おとこの台所「さつき祭」が三軒茶屋の三茶しゃれなあどで開催され、松原からは20名が参加しました。昨年同様、名取グループ代表の開会挨拶、光岡さんの乾杯の音頭で始まり、今回はフラダンスなどの新趣向の余興も好評で会は一層盛り上がりしました。



## 「Daddy」閉店感謝会開催

「Cafe Daddy」(松原会員・岡秀男さんのお店)が6月7日をもって閉店されます。このお店は松原ふれあいの家から近く、おとこの台所発足当時から会員の憩いの場で、親睦の宴他が数多く開催されていました。

今般、名取グループ代表の音頭で5月8日に「Daddy 閉店感謝会」が開催されました。当日は松原以外も含め有志15名が集合し、各自から感謝のコメントがありました。

(詳細はおとこの台所HPへ)



## 5月の松原教室

### ★料理内容

- ・帆立貝のバターソース
- ・鶏羽兒 (チパール)
- ・焼き春巻き
- ・きゅうりと豚肉のスープ

出席者数	会員	ゲスト	計
5月17日	15	7	22



「焼き春巻き」

## 「お酒のこぼれ話」

### 第21回 「奈良県」



(上北沢 前沢正公氏)

中世になると酒造りの中心は寺社に移り、奈良の僧坊酒は南北朝、室町時代から浄化が高く「南都諸白」と言われ日本の中心的銘柄であった。その地術は徳川時代には尾張名古屋徳川家、仙台伊達家に伝播されていった。

奈良県はその後、富と権力の座から遠くなり、直近まで日本酒での存在感は高くはなかった。近年、若手酒造経営者達が過去の名声を復活しようと新しい流れが出てきた。歴史と文化の宝庫の地だけに飲食文化の再構築に期待したいですね。

## 《会員の窓》 「紙芝居劇団での発声練習」 (長谷川嘉孚さん)



私は現在、主に世田谷を題材にした紙芝居を、小学校、高齢者施設、ロータリークラブ等で、ボランティアで上演する世田谷創作紙芝居の声優をしています。ご参考になる「紙芝居劇団での発声練習」をご紹介します。高齢になると、話し相手から、聞き返されることが多くなります。一般的には滑舌が悪いからとなりますが、声優指導の先生からは、それ以前の問題と指摘されます。具体的には、

- ① 下を向いて(喉を閉じて)話さない。
- ② 腹に力を入れた(締めた)良い姿勢で話す。
- ③ 口をしっかりと開いて話す。(開き方は難しいので別途として)
- ④ 声の大きさは、相手が複数の時は一番遠い人に向かって話す。是非一度試して下さい。

## 《今後の予定》

- 6月 7日(金) 松原 教室
- 6月 21日(金) 松原 教室
- 6月 22日(土) 料理講習会